

# 令和6年度 農作物（水稻）モニター事業調査結果

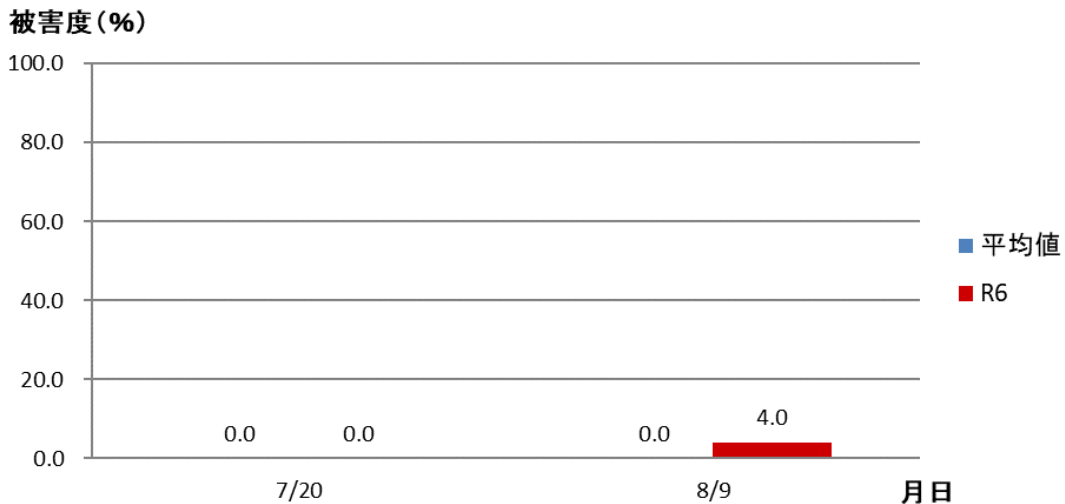
本県NOSA Iでは、水稻の生育状況を調査し、気象・病虫害発生状況などの基礎情報を継続的に観測して、県内水稻の作柄や被害発生状況の把握に務めています。

## 1. 水稻の生育および病虫害発生調査結果（第4回）

### 1) 水戸市の調査結果

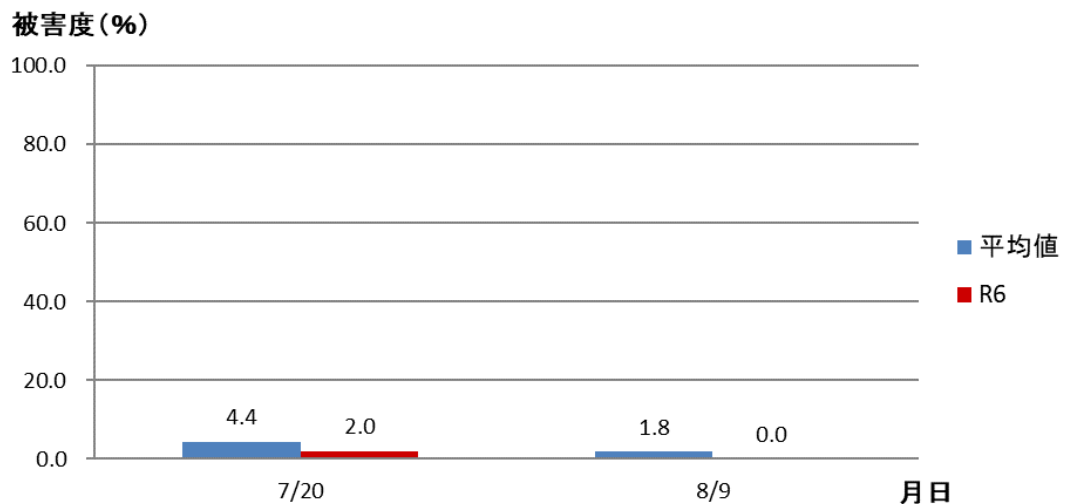
調査場所	品種	移植日	調査日
水戸市	コシヒカリ	5月6日	8月5日

### カメムシ類



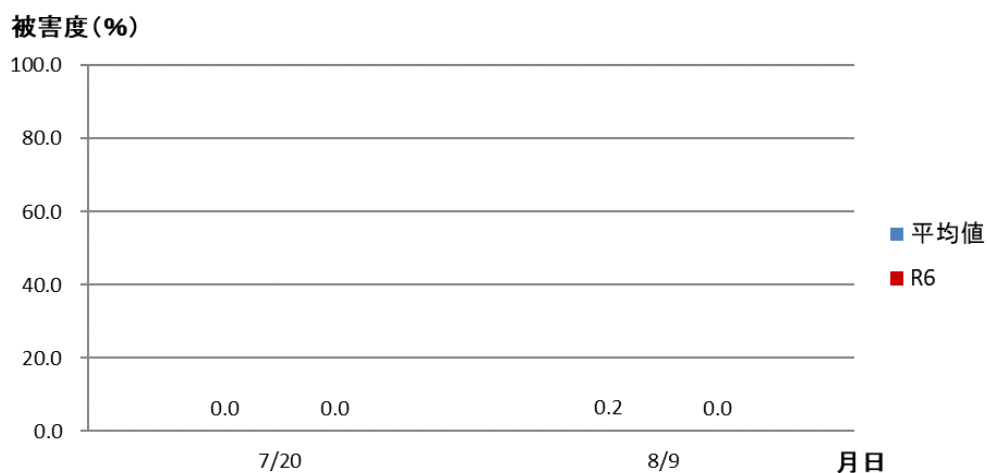
※横軸の月日は調査実施基準日

### 葉いもち



※横軸の月日は調査実施基準日

## 紋枯病



※横軸の月日は調査実施基準日

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は令和1～令和5年の5年間の平均値

### ○病害虫発生調査結果について

葉いもち、紋枯病の発生は「無」です。

既に、出穂期を迎えており、今後、穂いもちへの懸念もほぼ無く、問題ありません。

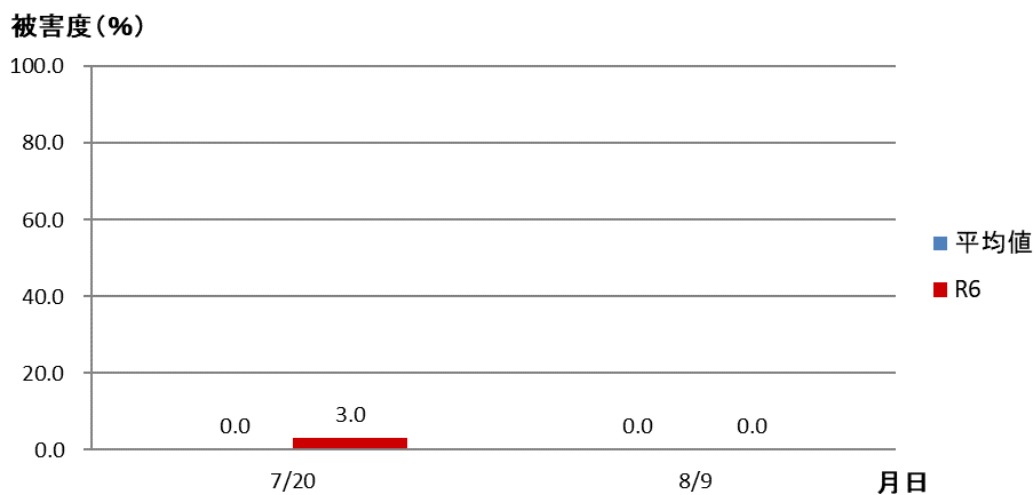
紋枯病は、毎年同じ圃場で発生しやすい傾向があり、気温が高いと発生を助長する条件になるため、株元（水際部）で初期発生が見られたら、乳熟期までに薬剤防除を行きましょう。

カメムシ類の発生は「中」です。穂揃期に1回目の防除を実施し、出穂後10～15日頃に幼虫を確認した場合には2回目の追加防除を行ってください。

## 2) 茨城町の調査結果

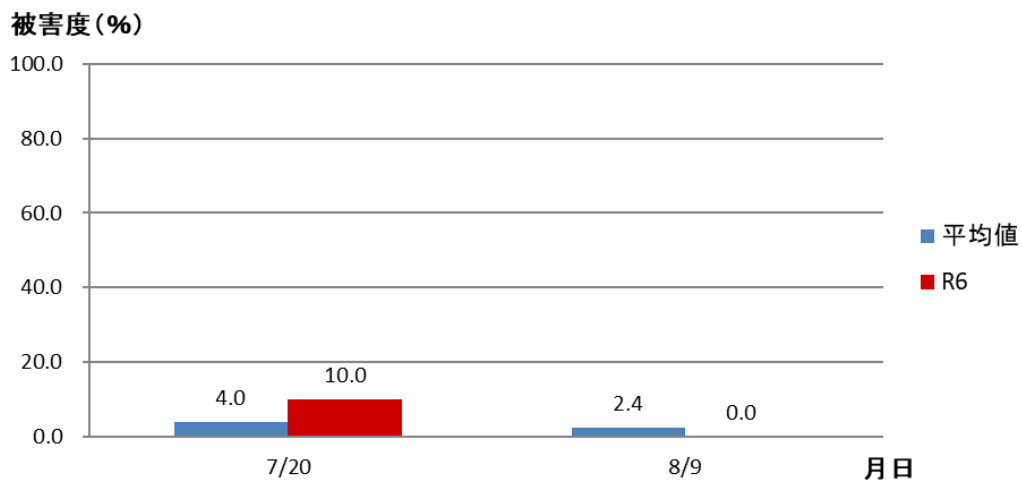
調査場所	品種	移植日	調査日
茨城町	コシヒカリ	5月11日	8月5日

### カメムシ類



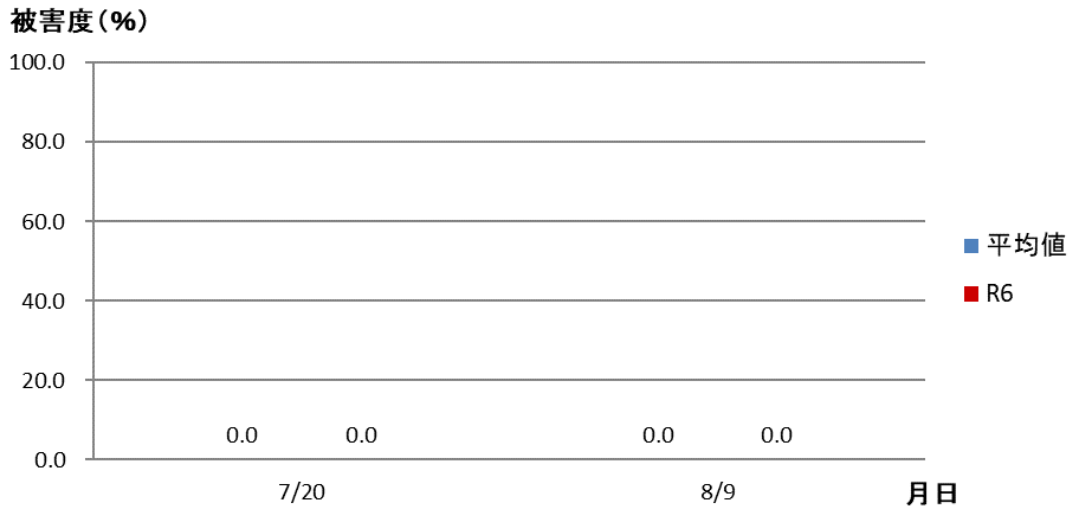
※横軸の月日は調査実施基準日

### 葉いもち



※横軸の月日は調査実施基準日

# 紋枯病



※横軸の月日は調査実施基準日

- 被害度は該当虫による葉の食害の度合い
- 平年値は令和1～令和5年の5年間の平均値

## ○病害虫発生調査結果について

葉いもち、紋枯病、カメムシ類の発生は「無」です。

既に、出穂期を迎えており、今後、穂いもちへの懸念もほぼ無く、問題ありません。

紋枯病は、毎年同じ圃場で発生しやすい傾向があり、気温が高いと発生を助長する条件になるため、株元（水際部）で初期発生が見られたら、乳熟期までに薬剤防除を行いましょう。

カメムシ類は、出穂後10～15日頃に幼虫を確認した場合には追加防除を行ってください。

## 2. 次回調査予定日

収穫期

茨城県農業共済組合連合会調べ  
協力：茨城県農業総合センター